

2013年5月15日

報道関係各位

## 子育てと乳幼児に関する調査

**家庭での子育ての分担割合 平均は母親77.6%、父親は14.4%**

**子育てで困っていること・心配なこと「しかり方」4割強  
子どもに食べさせる食材での心配「放射能汚染」9割弱**

**子育てで知りたい情報「子どもの病気・予防接種について」9割超**

**公園デビューで「ママ友ができた」は1割**

**育児ストレスの解消に必要「自分一人の時間」8割半、「夫の手伝い・サポート」7割  
20代母親のストレス解消「カラオケ」3人に1人、「ドライブ」4人に1人、「SNSやブログ」5人に1人**

**子育て中に掛けて欲しい言葉 夫には“ありがとう”、子どもには“ママ大好き”**

**小児科をネット検索 8割**

**子ども用品や子ども用食品をネットで購入 7割強**

**託児所・保育園・幼稚園をネット検索 関東と九州・沖縄で高い傾向  
“子育て支援アプリ”を使いたい 41.6%**

**オススメの絵本 1位「いないいないばあ」、2位「はらぺこあおむし」**

**絵本は電子書籍で読ませたい わずか3.8%**

**男の子の母親が子どもに就いて欲しい職業「公務員」30.8%、「会社員」26.6%が上位、「政治家」は1.2%  
女の子の母親が子どもに就いて欲しい職業「公務員」19.8%、「薬剤師」19.2%が上位、「政治家」は0.8%**

パルシステム生活協同組合連合会 (<http://www.pal.or.jp>) (本社:東京都新宿区、理事長:山本 伸司)は、「子育てと乳幼児に関する調査」をモバイルリサーチ(携帯電話によるインターネットリサーチ)により、2013年4月18日～4月22日の5日間において実施し、1,000名(調査対象者:小学生未満の子どもがいる20歳～49歳の母親)の有効サンプルを集計いたしました。

(調査協力機関:ネットエイジア株式会社)

## 調査結果

### ◆ 家庭での子育ての分担割合 平均は母親77.6%、父親は14.4%

最初に、小学生未満の子どもがいる20歳～49歳の母親1,000名(全回答者)に、家庭での子育てについて、自分自身や配偶者、その他(自分や配偶者の親や兄弟、ベビーシッターなど)がそれぞれどれくらい行っているか百分率で聞きました。

それぞれの平均をみていくと、自分自身(=母親)77.6%、配偶者(=父親)14.4%、その他8.1%となり、家庭での子育ての4分の3以上は母親が行っている結果となりました。

**◆ 子育てで困っていること・心配なこと「しかり方」14割強****◆ 子どもに食べさせる食材での心配「放射能汚染」9割弱**

全回答者(1,000名)に、子育てをしていて、何に困ったり、心配になったりするか聞いたところ、全体では「しかり方」42.2%が最も多く、「子どもの生活リズム」33.9%、「子どもの性格(おとなしいや乱暴など)」33.5%、「子どものわがまま」32.2%、「育児費用がかかる」29.8%が続きました。

子どもの成長区別にみると、子どもの成長とともに子育てで困ることや心配なことが変化していることが窺え、《新生児・乳児(満1歳未満)の母親》では「子どもの生活リズム」40.4%、「子どもの離乳食」33.8%など、《幼児(幼稚園・保育園入園前)の母親》では「子どもの性格(おとなしいや乱暴など)」38.8%、「子どものおむつ・トイレ」36.8%、「子どもの歯磨き」34.6%などが高くなりました。

また、「子どもの習い事」は、子どもの成長に伴って上昇し、《幼児(園児)の母親》では22.7%と2割を超え、「子どものわがまま」、「しかり方」は、《幼児(幼稚園・保育園入園前)の母親》と《幼児(園児)の母親》で目立って高く、幼児期の子どもの躾や教育に悩む母親の姿が浮き彫りになりました。

次に、子どもに食べさせる食材について、どの程度心配をしているか聞いたところ、『心配である』(「非常に心配である」と「やや心配である」の合計)との割合は、「放射能汚染」88.4%と「残留農薬」82.4%では8割以上となり、「食品添加物」64.0%、「輸入食材」58.6%、「アレルギー」56.5%、「カロリー」32.1%が続きました。

子どもの成長区別にみると、特徴がみられたのは「アレルギー」で、子どもが幼い程高く、《新生児・乳児(満1歳未満)の母親》では71.1%でした。

**◆ 子育てで知りたい情報「子どもの病気・予防接種について」9割超**

全回答者(1,000名)に、子育てに関する情報をどの程度知りたいか聞いたところ、『知りたい』(「非常に知りたい」と「やや知りたい」の合計)との割合は、「子どもの病気・予防接種について」91.4%では9割を超え、「しかり方・褒め方について」88.9%では約9割となり、「子どもの食事について」79.7%、「子どもの遊び場について」77.6%、「幼稚園・保育園について」74.3%では7割以上となりました。

子どもの人数別にみると、全ての項目において、《子どもが1人の母親》は子どもが複数いる母親よりも『知りたい』とする割合は高くなり、特に「幼稚園・保育園について」(子どもが1人の母親83.6%)でその傾向が顕著でした。

**◆ 公園デビューで「ママ友ができた」は1割**

初めて子どもを公園に連れて行く“公園デビュー”。子どもを公園で遊ばせる以外に、ママ同士の交流も生じるため、子育て中の大きな関心事の一つになっているのではないのでしょうか。そこで、既に公園デビューをしている754名に、公園デビューの際にどの程度周囲のママと交流をしたか聞いたところ、「ママ友ができた」9.7%、「周囲のママと会話した」24.3%、「周囲のママとは挨拶程度だった」28.2%となり、6割強が他のママと交流があったとしました。一方、他のママと交流がなかったのは3割強で、その中で最も多かったのは「周囲のママと関わるつもりはなく、関わらなかった」17.5%という回答でした。これから公園デビューという方は、あまり気負わず、主目的は子どもを遊ばせることと割り切り、ママ友ができればラッキーぐらいの気持ちで公園デビューに臨んではいかがでしょうか。

**◆ 育児ストレスの解消に必要「自分一人の時間」8割半、「夫の手伝い・サポート」7割****◆ 20代母親の育児ストレス解消「カラオケ」3人に1人、「ドライブ」4人に1人、「SNSやブログ」5人に1人**

育児では苦勞と心配が絶えず、ストレスを抱えるお母さんも多いのではないのでしょうか。そこで、全回答者(1,000名)に、育児ストレスの解消に何が必要だと思うか聞いたところ、「自分一人の時間」が85.5%と際立ち、「夫の手伝い・サポート」69.8%、「睡眠」64.5%、「甘いもの」53.9%、「美味しい料理」47.5%が続きました。

子どもの成長区別にみると、多くの項目で子どもが幼い程高くなりました。その中でも「夫の手伝い・サポート」や「夫の愛情」はその傾向が顕著に表れていました。子どもが赤ちゃんのうち、夜中の授乳や抱っこなど体力的な負担だけでなく、体型の変化やホルモンバランス等の影響による心理的な負担もお母さんには生じやすくなります。また、幼稚園や保育園の入園前では、子どもと一緒にいる時間がほとんどであり、イヤイヤ期も始まり、心身ともに疲れやすくなります。そんな時だからこそ夫に支えになって欲しいとの思いがより強くなるのかもしれませんが。

さらに、年代別にみると、20代の母親では「カラオケ」31.6%、「ドライブ」26.3%、「SNS やブログ」21.4%が30代、40代の母親より目立って高くなり、年代によって異なる方法で育児ストレスを解消している様子が窺えました。

#### ◆ 子育て中に掛けて欲しい言葉 夫には“ありがとう”、子どもには“ママ大好き”

子育てに奮闘している時に優しい言葉を掛けてもらえれば、その言葉が励みになることもあるのではないのでしょうか。全回答者(1,000名)に、子育てに奮闘している際に掛けて欲しい言葉として、誰に、何と言って欲しいか自由回答で聞きました。まず、誰に言葉を掛けて欲しいかをみると、「夫」78.9%がトップとなり、「子ども」4.6%、「親/母/義母」4.5%が続きました。

それでは、それぞれに何と言って欲しいと思っているのでしょうか。《“夫”に声を掛けて欲しいとした層》(789名)では「(いつも)ありがとう」45.2%、《“子ども”に声を掛けて欲しいとした層》(46名)では「(ママ)大好き・愛してる」63.0%、《“親/母/義母”に声を掛けて欲しいとした層》(45名)では「よくやっているね・頑張っているね」40.0%がそれぞれ最多となりました。“夫”には感謝、“子ども”には愛、“親”には褒められることを期待しているのかもしれませんが。

#### ◆ 小児科をネット検索 8割

#### ◆ 子ども用品や子ども用食品をネットで購入 7割強

#### ◆ 託児所・保育園・幼稚園をネット検索 関東と九州・沖縄で高い傾向

#### ◆ “子育て支援アプリ”を使いたい 41.6%

全回答者(1,000名)に、子育てに関するネット利用の経験を聞いたところ、経験率は「小児科をネット検索で探したこと」79.2%、「託児所・保育園・幼稚園をネット検索で探したこと」67.6%、「子ども用品や子ども用食品をネットショッピングで購入したこと」72.3%、「子育て専用のSNSに登録したこと」46.6%となりました。

「託児所・保育園・幼稚園をネット検索で探したこと」は、エリアによって経験率が異なり、待機児童数の多いエリアである関東や九州・沖縄では7割を超え、それぞれ73.6%、73.1%となりました。

また、赤ちゃんをあやすことができるアプリや知育ゲームアプリのように子育てシーンで使えるようなスマートフォンアプリが登場しています。そこで、子育てを支援してくれるようなスマートフォンアプリを使いたいか聞いたところ、利用意向率は41.6%となりました。

#### ◆ オススメの絵本 1位「いないいないばあ」、2位「はらぺこあおむし」

#### ◆ 絵本は電子書籍で読ませたい わずか 3.8%

子育てアプリ以外にもパソコンを使った教材などが世の中には多くありますが、言葉を覚えたり、感性を発達させたりでき、親子のコミュニケーションにもなる昔ながらのアイテムといえば絵本ではないでしょうか。全回答者(1,000名)に、乳幼児の子どもに読み聞かせる絵本でオススメの絵本を自由回答で聞いたところ、最も多かったのは「いないいないばあ」(95件)で、「はらぺこあおむし」(80件)、「だるまさん シリーズ」(42件)、「ぐりとぐら」(38件)、「ノタン」(34件)が続きました。

また、最近では、声が出るような電子書籍の絵本が出ていますが、絵本は電子書籍で読ませたいと思うか聞い

たところ、同意率は 3.8%にとどまりました。絵が飛び出るようなしかけや、サイズ、質感などの違いをそれぞれの作品で味わえたり、肌で感じたりできるのは紙の絵本です。子どもが一人で読むこと、親子のコミュニケーションで読み聞かせることを考えると、“絵本は昔ながらの紙の絵本で”となるのではないのでしょうか。

◆ **男の子の母親が子どもに就いて欲しい職業 「公務員」30.8%、「会社員」26.6%が上位、「政治家」は 1.2%**

◆ **女の子の母親が子どもに就いて欲しい職業 「公務員」19.8%、「薬剤師」19.2%が上位、「政治家」は 0.8%**

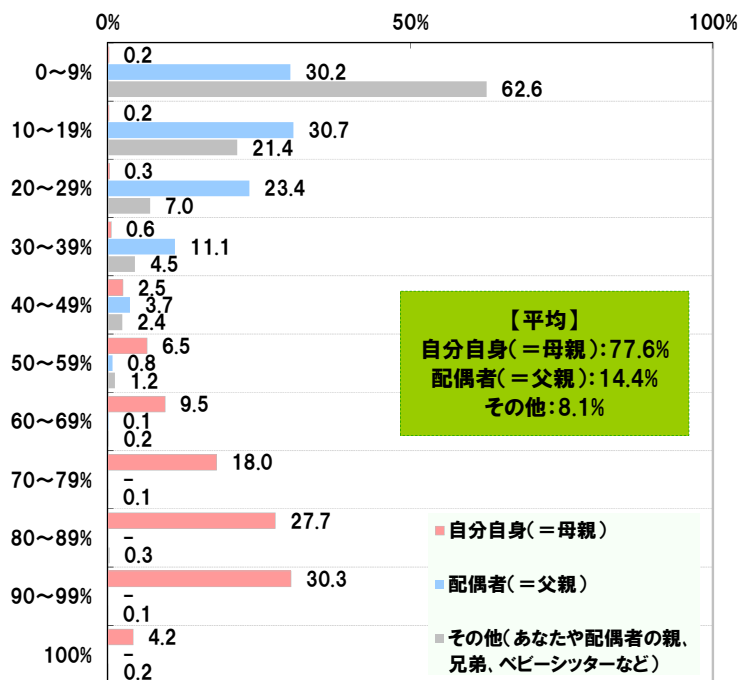
全回答者(1,000名)に、子どもに将来、どのような職業に就いて欲しいか聞いたところ、「子どもが就きたいと思う職業」が 72.0%と際立ち、「安定した職ならなんでも良い」が 42.7%で続きました。子どもの希望を尊重したいとの親心が窺い知れる結果となりました。

具体的な職業についてはどうなっているのでしょうか。子どもの性別ごとに具体的な職業についてみていくと、男の子の母親では、「公務員」30.8%が最多となり、「会社員」26.6%、「薬剤師」19.0%、「医師・歯科医師」16.0%、「プロスポーツ選手」11.6%が続きました。一方、女の子の母親では、「公務員」19.8%、「薬剤師」19.2%、「会社員」18.2%が同レベルで続き、「看護師」16.0%、「保育士」11.2%となりました。

“末は博士か大臣か”と言われた時代もありましたが、男の子の母親では「学者・研究者」5.0%、「政治家」1.2%、女の子の母親では「学者・研究者」3.2%、「政治家」0.8%という結果となりました。2013年4月の衆院予算委員会で、“子どもがなりたい職業”が話題に上がり、政治家の不人気ぶりが大きく報道されましたが、子どもの希望と同様、親の願いでも一国の行く末を左右する立場にあるはずの政治家の人気の低さが明らかになりました。

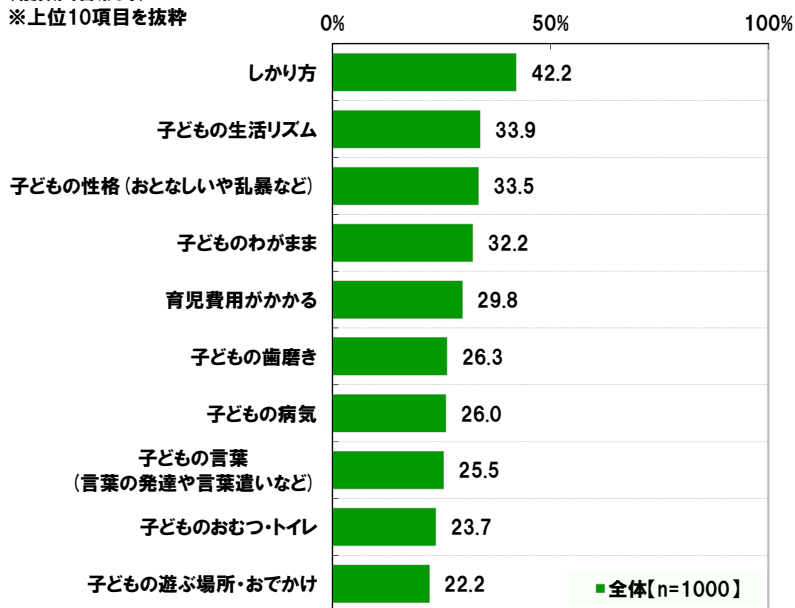
グラフ集

◆家庭の子育てについて、どれくらいの割合参加しているか（数値入力形式）

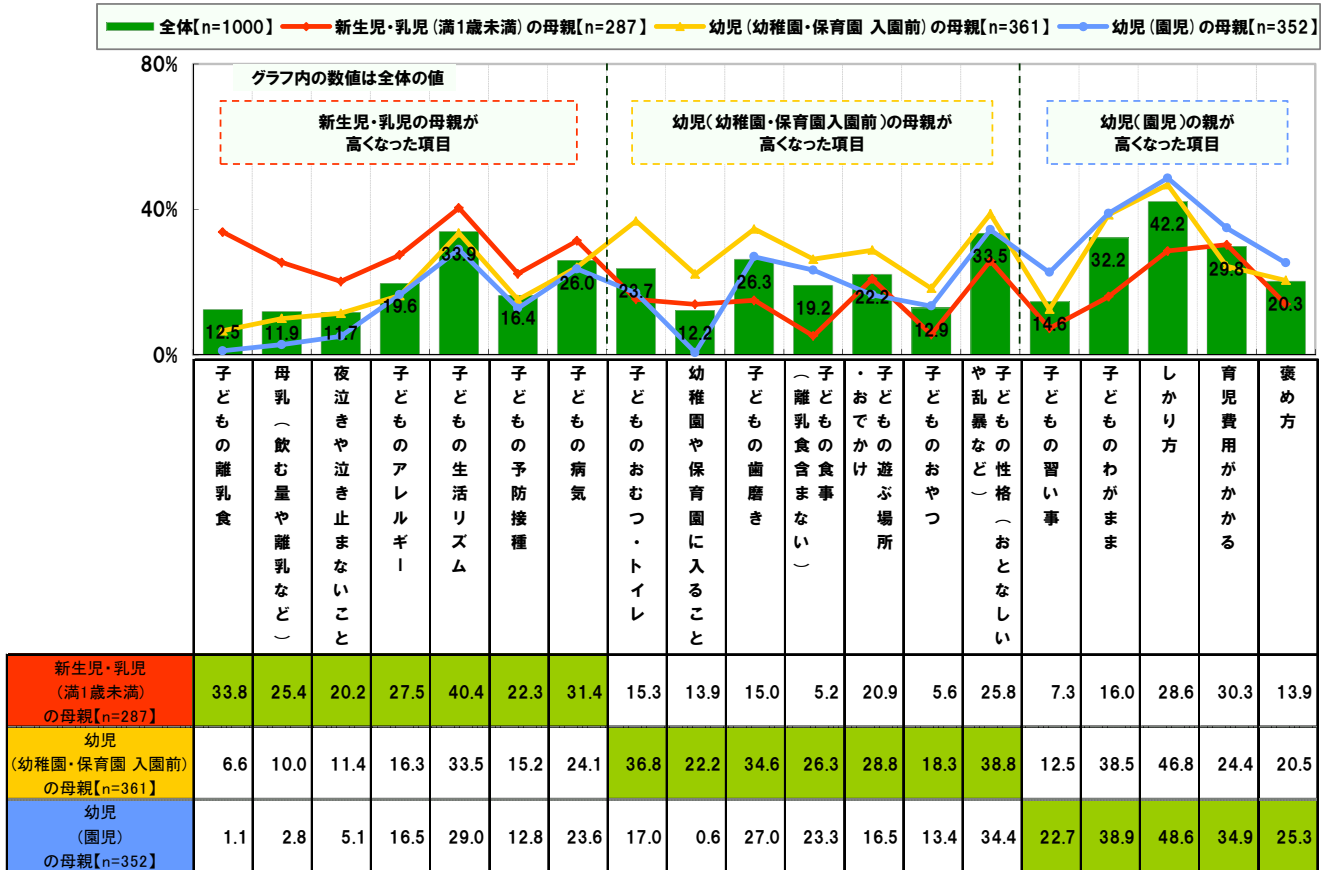


◆現在子育てをしていて、何について困ったり、心配になったりしているか  
(複数回答形式)

※上位10項目を抜粋

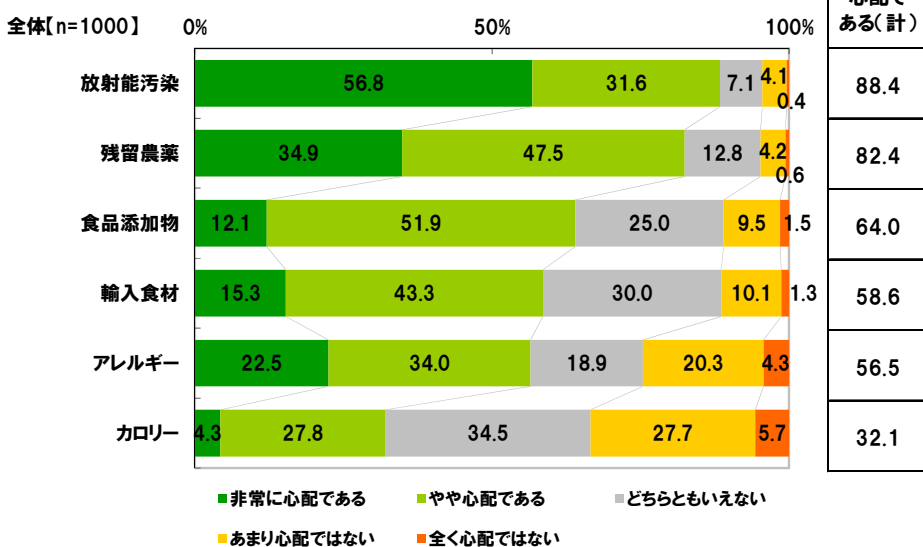


◆《子どもの成長区分別》現在子育てをしていて、何について困ったり、心配になったりしているか（複数回答形式）

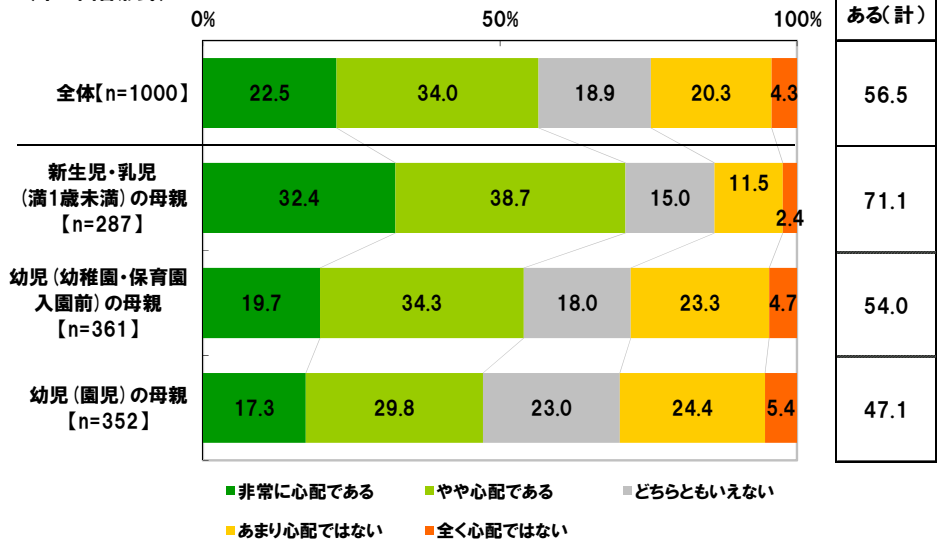


網掛け：子どもの成長区分別にて、最も高くなった層

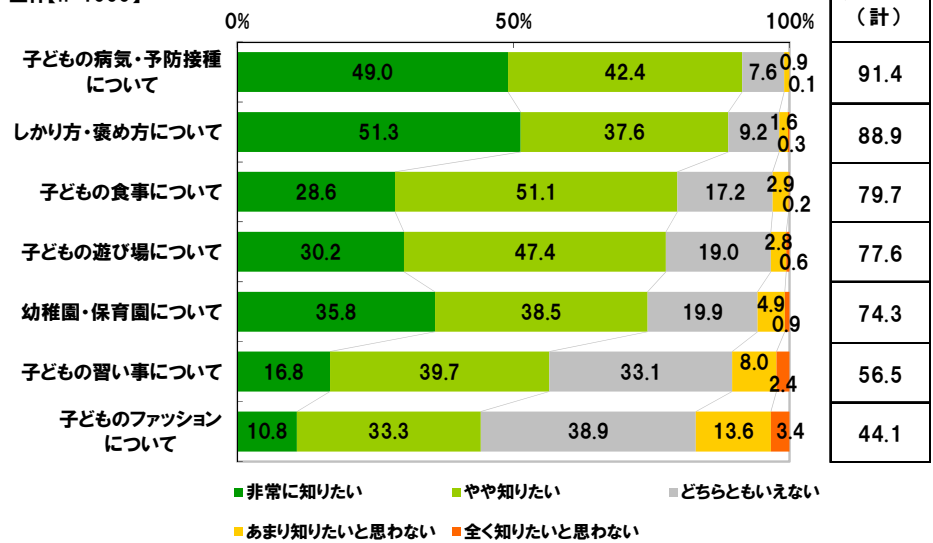
◆子どもに食べさせる食材について、どのくらい心配になるか（単一回答形式）



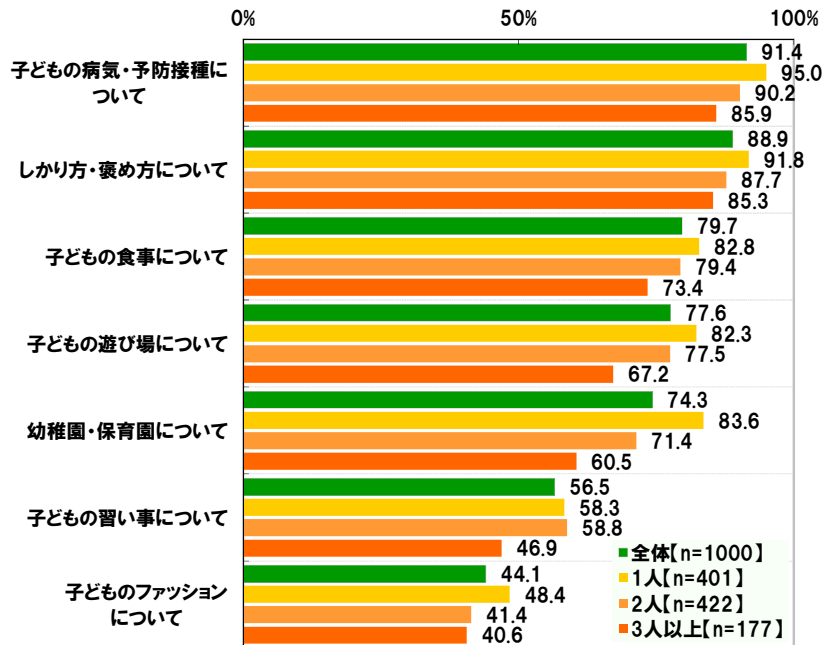
◆子どもに食べさせる食材について、【アレルギー】がどのくらい心配になるか  
(単一回答形式)



◆子育てについて情報をどの程度知りたいか (単一回答形式)  
全体[n=1000]

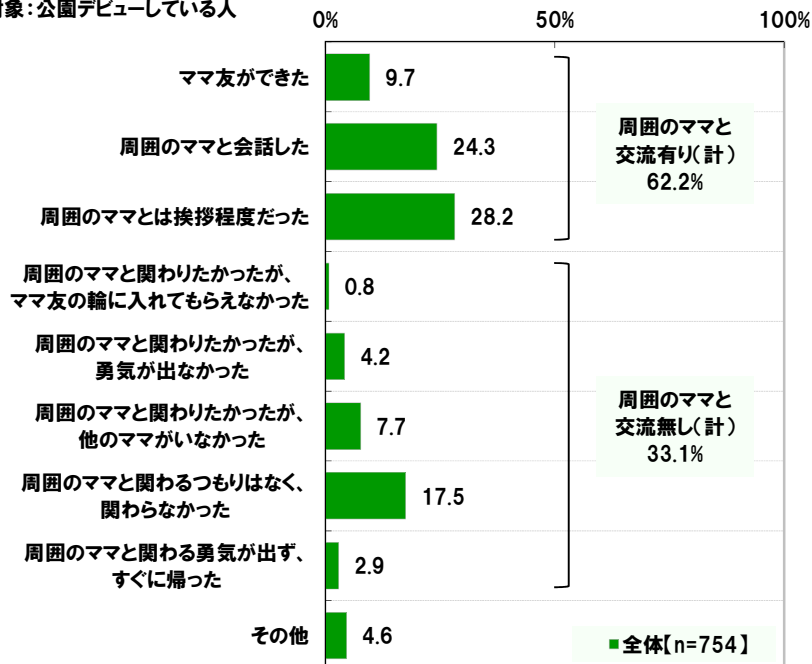


◆子どもの人数別\_子育てについて情報をどの程度知りたいか  
※「非常に知りたい」と「やや知りたい」の合計



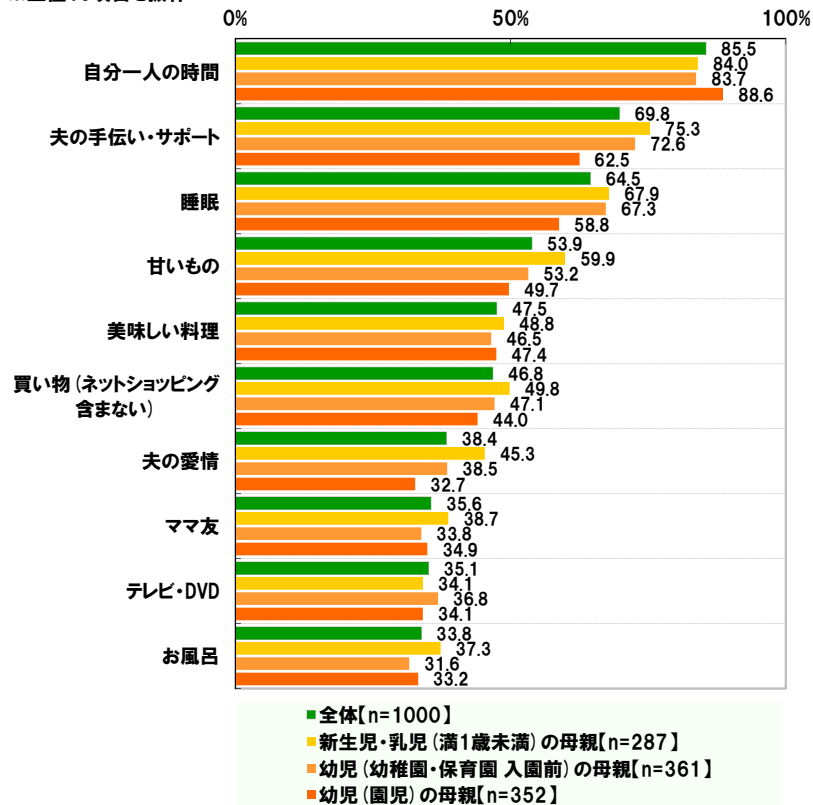
◆公園デビューの際に周囲のママとどの程度交流したか  
(単一回答形式)

対象: 公園デビューしている人

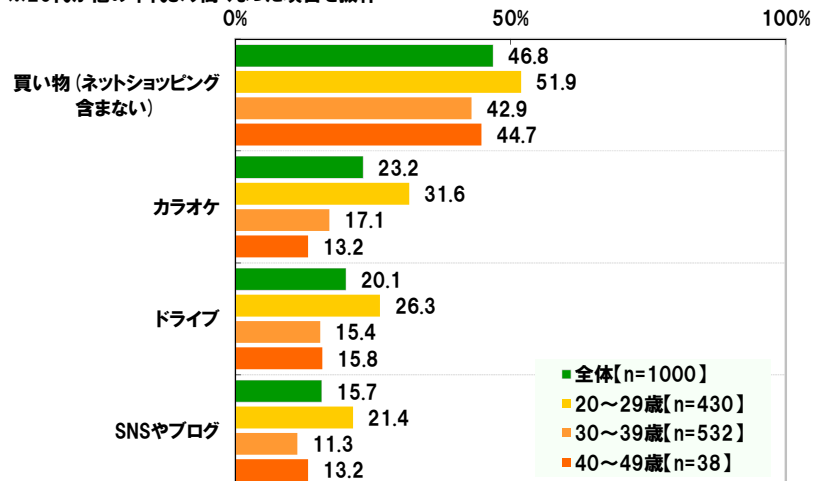




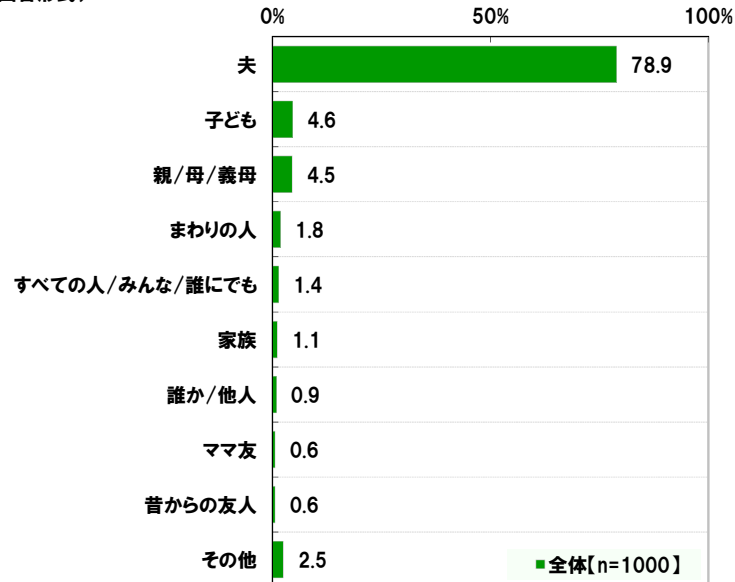
◆育児ストレスの解消には何が必要だと思うか（複数回答形式）  
※上位10項目を抜粋



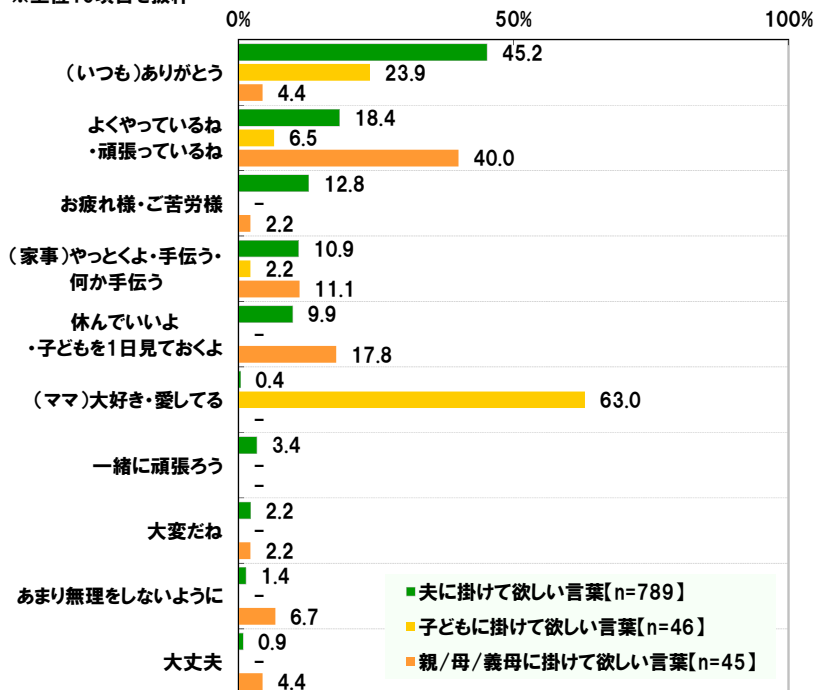
◆育児ストレスの解消には何が必要だと思うか（複数回答形式）  
※20代が他の年代より高くなった項目を抜粋



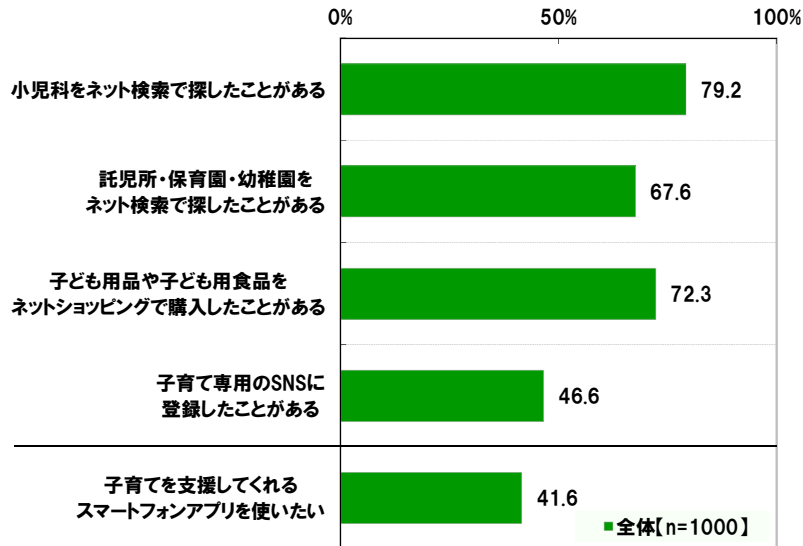
◆子育てに奮闘している際に“誰に”言葉を掛けて欲しいか  
(自由回答形式)



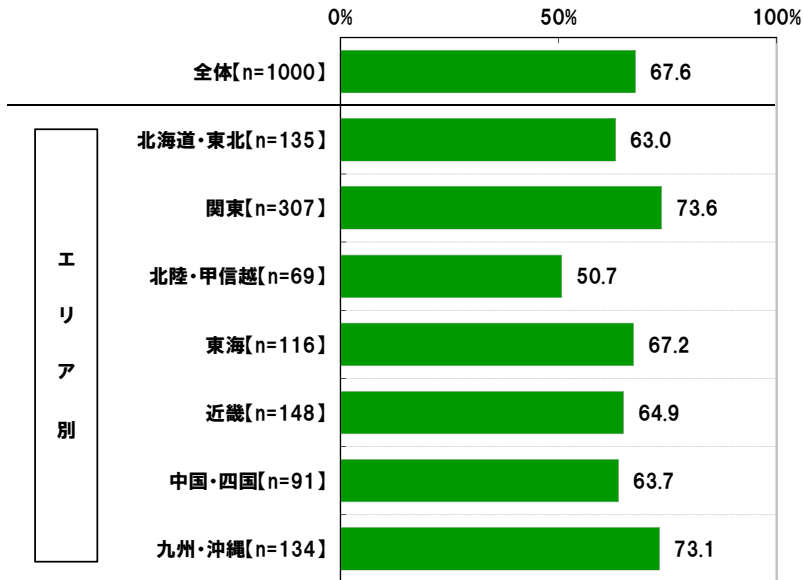
◆子育てに奮闘している際に“何と”言って欲しいか (自由回答形式)  
※上位10項目を抜粋



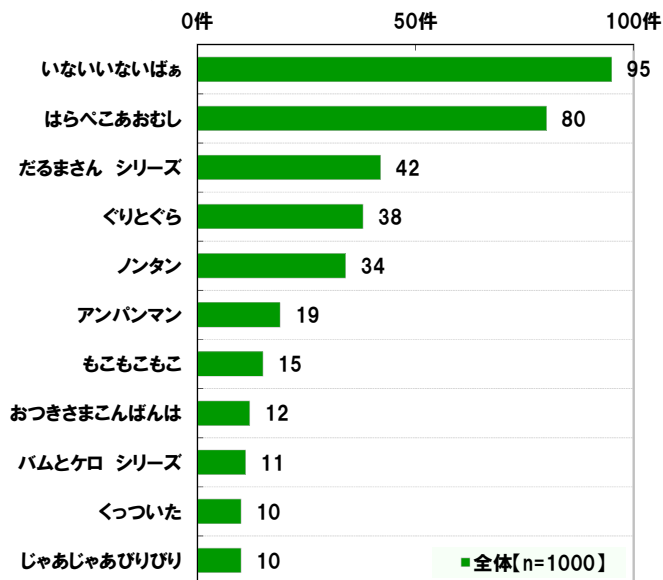
◆“子育てに関するネット利用経験”や  
“子育てを支援してくれるスマートフォンアプリの利用意向”  
※「あてはまる」の割合



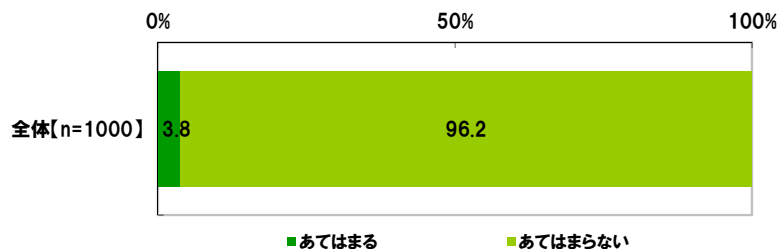
◆子育てに関するネット利用経験  
【託児所・保育園・幼稚園をネット検索で探したことがある割合】



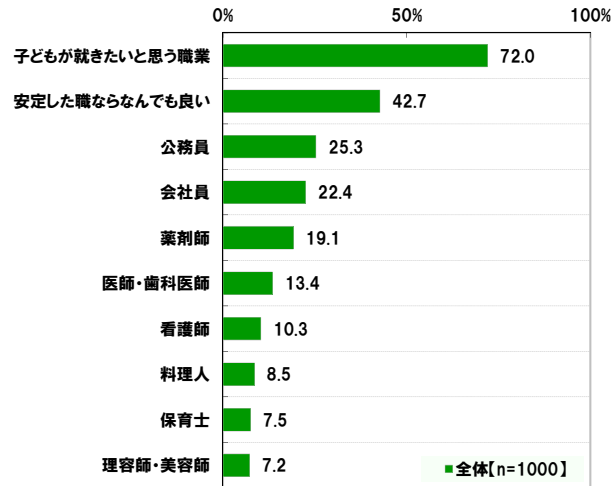
◆乳幼児の子どもに読み聞かせする絵本でオススメの絵本（自由回答形式）  
※10件以上回答のあった絵本を抜粋



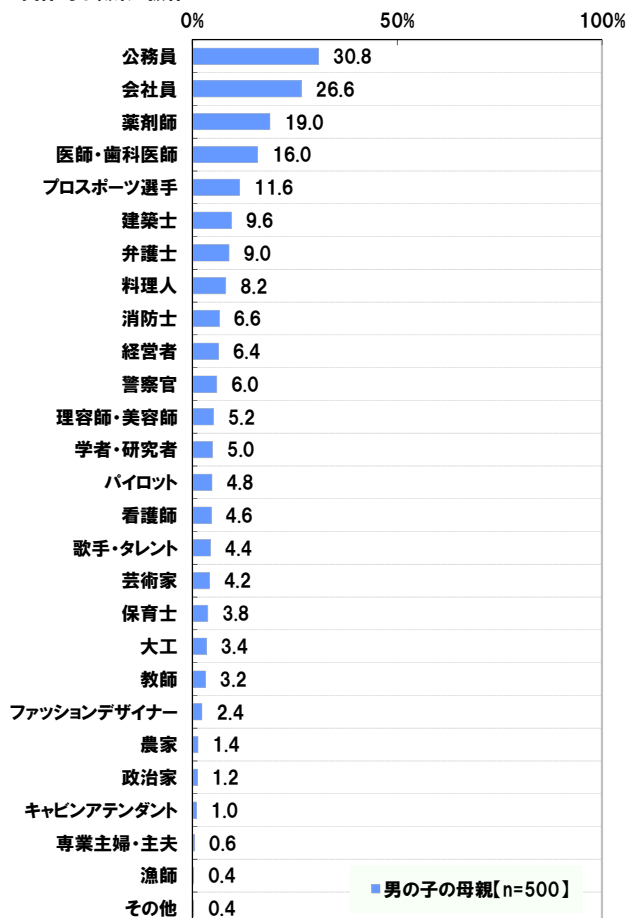
◆絵本は電子書籍で読ませたいと思うか（単一回答形式）



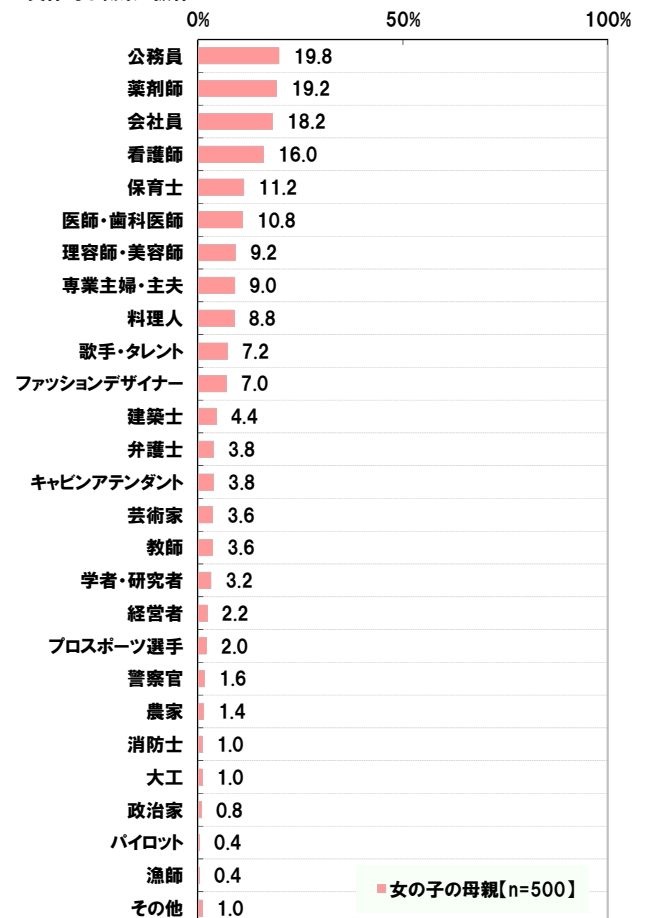
◆子どもに、将来、どのような職業について欲しいか（複数回答形式）  
※上位10項目を抜粋



◆《男の子》子どもに、将来、どのような職業について欲しいか  
（複数回答形式）  
※具体的な職業を抜粋



◆《女の子》子どもに、将来、どのような職業について欲しいか  
（複数回答形式）  
※具体的な職業を抜粋



◆調査概要◆

- ◆調査タイトル : 子育てと乳幼児に関する調査
  - ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのモバイルモニター会員を母集団とする、小学生未満の子どもがいる20歳～49歳の母親
  - ◆調査期間 : 2013年4月18日～2013年4月22日の5日間
  - ◆調査方法 : インターネット調査（モバイルリサーチ）
  - ◆調査地域 : 全国
  - ◆有効回答数 : 1,000サンプル（有効回答から1,000サンプルを抽出）  
 （内訳）
    - 新生児・乳児の母親 : 計287サンプル  
 （男子の母親142サンプル・女子の母親145サンプル）
    - 幼稚園・保育園入園前の幼児の母親 : 計361サンプル  
 （男子の母親183サンプル・女子の母親178サンプル）
    - 幼稚園・保育園に通っている幼児の母親 : 計352サンプル  
 （男子の母親175サンプル・女子の母親177サンプル）
  - ◆実施機関 : ネットエイジア株式会社
- 調査協力会社 : ネットエイジア株式会社(担当:吉田)

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、  
 「パルシステム生活協同組合連合会調べ」と付記のうえ  
 ご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

パルシステム生活協同組合連合会 事業広報部 商品企画課 担当:大野、石原

TEL :03-6233-7204

受付時間 :10時00分～17時30分(月～金)

■■パルシステム生活協同組合連合会 概要■■

- 組織名 :パルシステム生活協同組合連合会
- 代表者名 :理事長 山本 伸司
- 設立 :1990年2月
- 所在地 :東京都新宿区大久保2丁目2-6 ラクアス東新宿
- 業務内容 :会員生協の委託を受けた、商品・システム・基幹物流